

第7回いわみフレッシュ フェスティバル

～人権・健康・文化の祭典～

こうみんかん だより

No.365



11月2日～4日 中央公民館を中心に第7回いわみフレッシュフェスティバル「人権・健康・文化の祭典」を開催しました。

期間中は天気にも恵まれ、姫鳥線マスコットキャラクターのカーニラ、ナシータもフェスティバルに加わり賑わいに花を添えました。中央公民館では、園児、児童の作品や町民の方々の力作が並びました。町民体育館では、健康管理、介護予防の一環として、健診コーナー、ライフサポートコーナーが設けられ、ストレスチェック、血圧・体脂肪測定等が行われ、血管年齢測定やメタボチェックなどは皆さんの関心の高さを感じました。子育て支援コーナーやフリーマーケット、環境コーナーなどてんこもりの内容でした。屋外では、日赤奉仕団



による災害時用ご飯・豚汁、テント村では、岩美の特産品などが並べられ、うどん、そばをはじめ多くのテントに人の列ができ、午前中で完売するテントが続出しました。芸能発表会では、15のプログラムに120人が出演し、龍神太鼓、手話歌、健康劇、詩吟、踊り、カラオケなどに日頃の練習成果を力いっぱい発表しました。わが中央公民館センサアップいわみ高齢者大学の自主学習の一つフラダンスも13人が出場しました。文化講演会&女と男のつどいでは、講師の宝井琴桜さんによる講演「女もいきいき男もいきいき」で男女共同参画を「山下さんちの・・・」で始まる軽妙な講談に乗せ、楽しくわかりやすく笑いとともに話してくださいました。男性の入場者も多く、岩美町にも山下さんちのような家庭が増えるのではと感じました。



期間中に行われた日中友好行事や、いわみ音楽祭も大勢の人を楽しませてくれました。

音楽に癒されました♪

10月17日の第7回センサアップいわみ高齢者大学で、わらべ館童謡唱歌コンサートを開催しました。わらべ館童謡唱歌推進員の歌手の山尾純子先生とピアノ伴奏の森やす子先生にお越しいただき、14曲の童謡・唱歌を歌っていただきました。

山尾先生の透き通るように美しい歌声となじみのある歌詞に、学級生の皆さんも一緒に口ずさんだり、体を動かしたりしながらコンサートを楽しみました。

なんと!!山尾先生は、オペラ歌手の秋川雅史さんと大学の同期生で、共に音楽を勉強した仲間なのだそうです。その秋川さんを応援する気持ちと、学級生の期待に応える気持ちを込めて、アンコールには「千の風になって」を特別に歌ってくださいました(この曲を歌うためにわらべ館館長の許可を特別にもらってくださいましたそうです)。

学級生一同、普段耳にすることの

できないプロの

歌声とピアノ伴奏にとっても感動し癒されました。

深く心に染み入る素晴らしいコンサートでした。



岩美川柳会

「自由吟」

菊作り色あざやかに酔う日暮れ

北村 稔

美しく見たい景色へ距離をおく

田口 清帆

桃色の白衣の天使夢に見る

小西 幸安

源泉はこんな小さな岩清水

羽津川公乃

泣く子にはかなわぬ岩戸開けて

山田 たぬ

しめ縄でつながれている夫婦岩

山下 蟹郎

ままごとのような二人に岩田帯

岡本 幸枝

山々を恋うて堪えてる島の松

石谷美恵子

変化球投げてマンネリ防止する

山下 節子

振り返る事もないまっとうる

飯野 菖子

投げられた黒声笑顔で投げ返す

石谷 忠良

松かさ短歌会

こんなにもローソクの炎美しと夜の仏前に両掌を合す

安木 和代

きりぎしにしがみつきたる蝸牛

何処へ行くのか夕暮れ近く

山根 富枝

日は落ちて花のかすかにゆれて

いるコスモスロードをゆつくり

歩く

山里の斜面に群れ咲く彼岸花秋の陽しみに燃えて上りいる

横山 芳子

井筒三重子